

平成21年度 第4回鳥取市校区審議会 議事録

1 日 時 平成22年3月18日(木) 午後2時～午後3時45分

2 会 場 鳥取市教育センター 2階第1研修室

3 出席者 【委員】

渡部昭男委員、岩崎憲一委員、太田忠誠委員、谷本由美子委員
前田多喜男委員、有本喜美男委員、武安哲也委員、瀧田絃子委員
渡辺勘治郎委員、横山隆雄委員、藪根彰人委員、藤井健委員
加藤研委員

【アドバイザー】

とっとり地域連携・総合研究センター 澤弘一サブディレクター

【教育委員会】

橋本佳忠次長、中宇地昭人参考事、神谷康弘課長補佐、橋本浩之主査

- 4 会議次第 (1) 開会
(2) 会長あいさつ
(3) 報告
 第3回会議概要
(4) 議事録署名委員の選任
 (武安委員、岩崎委員を選任)
(5) 議事
 ①標準規模について
 ②通学区域について
 ③適正配置について
 ④その他
(6) 閉会

5 議事の概要

発言者	発言内容（要旨）
会長	会も4回を重ねまして、いよいよ議論も大詰めを迎えていますが、今日議論いただいた内容を踏まえて中間答申の様な形を、次年度の段階で出せたらと思っておりますので、宜しくお願いします。 それでは、先ず第3回の会議概要について事務局の方からお願いします。
事務局	(第3回校区審議会の概要報告・・・・レジュメ2ページ)
会長	議事録署名委員ですが、委員2名にお願いしたいと思います。 では早速、議事に入りたいと思います。前回出された資料提供の要望なども踏まえて、幾つか資料を用意して頂いていますので、先ず事務局から資料の説明をお願いします。
事務局	(レジュメの3ページ、資料1、資料2の1～2ページを説明) (レジュメの4ページ、資料2の3～4ページを説明) (レジュメの5ページを説明)

事務局	(別冊「鳥取市教育ビジョン」を説明)
会長	<p>中間まとめとして、標準規模、通学区域、適正配置にかかる中間答申の様なものを出したいと思っています。</p> <p>このうち適正配置を考えるにあたり、レジュメの5ページに8つの指標をあげていますが、その内①②が標準規模にかかわる議論から、③④が通学区域についての議論から出てくるものです。この①～④の客観的データを基にして議論が開始されますが、直ちにそれで適正、不適正というような結論が出るというものではなく、⑤～⑧にあげている地域の特性や、歴史的経緯等、様々な視点が入ってくるものと考えています。そこで、適正配置を検討する指標は、この8項目でいいのかという点を、まず議論していただきたいと思います。</p> <p>それから、議論を進めていく上で、要望が出ている地域は急ぐと思いますが、それ以外の地域でも①～④の指標を用いて、議論を始めていただくきっかけとして促していかなければと思っています。その場合に、中心市街地では小規模校が近接している様なケース、それから中心市街地以外では小規模化の進行が著しいケースについて、議論を始めていただくよう促すようなイメージです。そこで学校や地域、様々な人達が意見交換しまして、小規模校であっても将来こういう展望を持っているので、単独校としてやっていきたいとか、小中一貫校でいきたいなど地域の目標というか、方向性を出してもらえばと考えています。</p> <p>では、今日の前半は標準規模と通学区域に関して、まだ発言とか意見が残っている部分について出させていただき、それを踏まえて次回までに会長、副会長、事務局等が集まり、中間報告の骨子を出させて頂ければというふうに思っていますので、よろしくお願ひします。</p> <p>なお、学級数についてですが、資料1を見ていただきますと、12～18学級が国の標準ですが、鳥取市の場合、上の方はあまり該当校がないので、下の方が問題だという事が前回まで議論されてきました。では下の方はどの辺りまでが検討ラインかというと、鳥取市の実情からいいますと、小学校では表の青色のところ、中学校では青色と緑色のところも若干多様性があり検討を要しますが、橙色の3～5学級のところと、縦に薄青く表示している6学級のところまでが、検討を進めていただく対象になるのではないかと考えています。但し、境界線にある6学級については、少し議論の対象にしてみてはどうかというような書き方に、それから橙色の3～5学級については、早急に検討を要するだろうということで、少し重み付けが違った書き方で標準規模についてのまとめをさせて頂けたらと思っています。</p> <p>それでは、標準規模と通学区域について、適正配置と絡みながらでも結構ですので、何か意見がありましたら出してください。</p>
委員	<p>基本的な方向に関してですが、新市域の町で小学校と中学校が1校づつで表の橙色と青色の部分に入ってきているところがありますが、こういった地域ではそういう方向で考えていくのかなと思います。</p> <p>また、大規模校と小規模校が隣接していると言っても、交通手段や道路、河川等の関係もあり、単純にこことここを統合したら良くなるとは言い難いものだと思います。</p>
委員	考える視点が子ども達をどう育てるかという事なのですが、義務教育の中で小・中学校の連携という事が言われており、スムーズに連携が取れる様な

	校区にすべきだと思いますので、今ある公民館を中心とした地域の在り方なども含めて考えていかないと、単に人数や通学距離だけを重点に考えてしまうと、ちょっと危険ではないかと思います。
会長	<p>今のご意見は、自治会、公民館との関係に関わる問題で、重要な視点だと思います。</p> <p>もう一度整理をしますと、標準規模と適正配置は、統廃合の結論を出す為の指標ではなく、地域の中で議論を始めていただくための指標という事です。その議論を始めていただいた中で、地域との関係、歴史性などで非常にポジティブな案が出て来たり、地域住民や学校関係者の工夫などが見えてくると、それを重視して結論を出していこうとういう事です。つまり議論をこちらから投げかけるために客観的な指標から入りますが、最終的には、8つの指標に絡めて、総合的に検討していこうということで考えています。</p>
委員	前回の議論の内容を改めて見ると、適正規模と標準規模の言葉の使い方について、適正というと少し価値判断が入りますし、標準というと客観的な意味あいが強いように感じますので、今後、議論をすすめる上で、どちらが良いのか少し気になります。
会長	<p>イメージとして「適正」というときっちりしていて、少しニュアンスがきつくなるのではないかという議論があり、結論を出すための指標ではなく、話をスタートさせる意味合いでの指標としては、幅を持たせやすくするために、「標準」という言葉の方が良いのではないかと考えたところです。</p>
委員	<p>通学距離に關係して前回も議論されましたが、スクールバスの問題があります。これについては、まずは路線バスの利用を中心に通学手段を考え、スクールバスがどうしても必要な場合に走らせるというやり方でいいのではないかと思います。</p> <p>それから家庭の負担について、交通手段は違っても同じ負担になるような方法にしないといけないと思います。スクールバスや乗合タクシーなどを利用する場合も、路線バス並みの負担となるように、今後交通手段の事が議論される場合には、考えていただきたいと思います。</p> <p>次に、自治会と公民館との関係ということは前から話がありますが、是非とも従来の公民館、行政区域と、小学校区域については一緒にして欲しいと思います。もちろんそれは地元の議論を聞いていかなければいけない事ですが、そういう考え方を基本的に持って欲しいと思います。</p> <p>ある地域では、現在公民館と校区が異なっており、まちづくりについてアンケートを行い集計したところ、今のままで良いかどうかという問い合わせし、良いとは思わないが40パーセント、今のまでも良いと思うというのが22パーセントでした。このことから、公民館と校区とが異なる場合は、初めからしっかり議論し、地域住民とコミュニケーションを図りながら意思統一をしてかからないといけないのではないかと思います。</p>
会長	<p>今のご意見が、区域のところの何処かに入れ込めるか分かりませんが、「スクールバスを検討する場合には、費用負担、費用補助、公共交通の在り方等との関連を踏まえる等」の一文を事務局で考えておいてください。</p> <p>後段のところはおっしゃるとおり、こちらからプッシュして議論を始めて頂いた結果、コミュニティセンターの様な形で学校を活用したいという形の案も有り得るということだと思います。そうなると単純に児童の数だけで統廃合というふうな結論ではなく、むしろ出てきた意見を踏まえて、どう発展させるかということになっていくと思います。</p>

	<p>今回、会長として考えているのは、とにかく議論を始めて頂いて、その地域の10年、20年先の学校と地域の関わりをどうするのか、その中でどういう選択、どういう発展方法があるのかという辺りの火つけ役みたいなイメージで、中間答申を出してみればと思っております。</p> <p>他に、校長会の方はどうでしょうか。</p>
委員	<p>まだ校長会として、この事について具体的な話し合いを持っておりませんので、発言は控えさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>概ね数字は出ているのではないかと思います。できれば12学級、クラス編成が出来る規模は欲しいと思いますが、先程言われた様に地域で話すると賛否両論があり、それをどう説得し納得してもらえるかというのは、数字から議論を構築しお願いする以外ないのではと思います。</p> <p>いろいろな所で地域住民の意見を伺いながら検討すると、中々前に進まないと思いますので、結論があって、それに向かってどう理論を構築していくかという様なやり方をしないと、難しいかのではないかと個人的には思います。</p>
会長	<p>イメージとしては、校区内の子どもを学校に通わせている家庭だけではなく、子どもがいないところの住民も含めて、学校、校区としてどう考えるかという議論を始めていただくことを考えています。</p> <p>子ども中心でという議論のスタートにはなるのですが、例えば、「ふるさと」というものを、今の校区で捉えるか、一緒になった地域で、新しいふるさとを作りましょうというようなポジティブな案が出るか、それはやはりそれぞれ地域によって違いますので、その辺りの議論として、「ふるさと」や「志し」というものをどういうふうにエリアの人達が支えて、10年先、20年先かかわって頂けるかだと思っています。</p> <p>ご意見のとおり、個々には中々難しい部分があると思いますが、議論の方向性として、「ふるさと」とか「志し」みたいなものを大胆に提示していく必要性があるのではないかという気がします。</p>
委員	<p>ある地域は、小学校は検討ラインギリギリのところにいますし、中学校も生徒数が確実に減少しています。また、隣接地域の住民から地域審議会の話を聞くのに、統廃合を具体的にして欲しいという気持ちの方もある様ですので、統廃合ということが現実に見えてきていると思います。ですから、具体的な数字で、標準規模として出していく様にしたら良いのではないかという気がします。</p> <p>10年、20年先という事になって来ると、この地域では子どもの人数が増えるという事はまず見越せないので、どれくらい減少率が進むのかという辺りから、特に中学校では生徒数が少ないので、学習効果の部分を考えて統廃合の基準を考えていかないといけないと思います。ただ、小学校と中学校では、子どもの体力という事や、地域との繋がり等がかなり違うと思いますので、統廃合の基準を同じように考えてはいけないと思います。</p> <p>もう1点、鳥取市では小中一貫校や、小中学校の統合問題を議論していますが、県では中高一貫制という事を考えているようですので、中学校から高校という事も少し考えないといけないのではないかと思います。</p>
会長	<p>先程、スクールバスの事が出たのですが、距離と時間、②には安全性のことがあります。何処かに通学手段みたいな項目を入れて、スクールバスを検討する場合や、小学生の場合の徒步通学の持つ意味等、何かそういうふうな記述を入れてみたらどうでしょうか。</p>

	そうすると、単純に距離だけではなく、通学手段という意味の議論も広がり、各通学手段が持っているメリットも検討に入るのではないかと思います。
委員	<p>特に新市域の小学校については、いくら標準規模だ、適正配置だと言っても、旧町村の行政の歴史が有りますし、加えて通学時間のこともありますので、統合などと言う話を出しても地域の人に理解していただけないのではないかと思っています。</p> <p>むしろ市街地の小学校について標準規模や適正配置を考えて、答申に盛り込んだ方がいいと思います。ただし、中学校は別だと思っています。</p>
会長	<p>事務局としては8つの指標の⑤⑥⑦あたりに、その辺のニュアンスを入れていて、標準規模や通学距離だけで単純に結論を出す訳ではないということだと思います。</p> <p>中間答申については、統廃合の結論の指標を出すのではなくて、議論をスタートして頂くための指標であり、小学校の持っている歴史的経緯とか地域との関係ということについて、むしろ地域の方から議論される事を歓迎したいと思います。</p> <p>それを我々が受けて議論を進めていけば、おっしゃる様な結論に最終的にはなるのではないかというふうに予測しています。</p>
委員	方向性として数字を基に考えていくのは良い事だと思うのですが、10年先となると、この数字がどうなっているかという事もありますし、今、話している内容が時代遅れになっている事が起こって来るかも知れませんので、将来、数字がどうなるかという事もデータに入れば、また方向性が見えて来るのではないかという気がします。
会長	以前に児童生徒数の将来予測として、出せる部分まで出ていますので、次回、今までのものも総合してまとめ上げましょう。ただ、結論的には若干増える所が数校ありますが、ほとんどは減少していくということだと思います。
委員	<p>小学校というのは、中学校とは別で考えてもいいのではないかと思います。今、まちづくり協議会で、小学校も保育園等もみんな一緒にやっていこうという組織になってきていますので、小学校規模で地域のまとまりを残し、中学校で一緒になり多くの中に入つて、教育的にも色々な事をやれば良いのではないかという感じがしています。</p> <p>私の地域の小学校は小規模校だったものですから、以前の校区審議会において、近隣との統合という答申が出されました。地区住民は絶対に残したいということで、住宅団地を造成していただいたという経緯があります。今回も統合という案が出ても、地区としてどうしたいのか考えていけば、他の案も出てくるかもしれません。ですから、今は現時点での人数的な事や地形的な事などから、大きな形で集約された答申を出していけば良いと思います。全部の意見を入れようとするとまずまとまらないですし、答申を受けて各地域で考えていくこともできると思うので、答申として統一できるものを統一された方が良いと思います。</p> <p>ただ、出来ることなら、どんな小さな地域でも小学校は残して欲しいというのが、一番の願いだと思います。</p>
会長	議論していただいて、最終的に地域の熱い思いが盛り上がり、行政も支援して残るという方向に期待をかけたいと思います。
委員	色々聞かせてもらうのですが、やはり、小学校でいうなら6学級以下、特に4学級という様な所は待ったなしで、大いに論議していく事が大事なのでないかと思います。教育的観点から考えますと、10人以下でも1学級と

	<p>いうことが、このまま続けられるという事は良くないのではないかと思います。</p> <p>私は、小学校も中学校も統合した所に住んでいましたが、そうなったから地域がゴタゴタしたかといったら、現在は立派な校区になっていますし、何もそんなに先の事を心配する事はないと思います。同じ鳥取市の中ですので、通学路の事はまた後で考えるとしても、教育的観点から早急に議論すべきものは議論すべきだと思います。</p> <p>ただ、こちらからそういうことを言うより、地域の方から子どものためにという観点で熟慮し、議論を開始して欲しいと思います。</p>
委員	<p>同一中学校への進学ということについてですが、私の子どもはみんなと別の中学校へ行きましたが、違う中学校へ行っても、そこで新しい友達ができましたので、小中一貫でなくても子ども達は十分順応できるのではないかと思います。事実、新しい中学校が出来た時に同じ小学校から別々の中学校に行ったケースが多くあると思いますので、そういうケースを考えていきますと、同一中学校への進学ということは、あまり考えなくてもいいのではないかという感じを持っています。</p>
会長	<p>中間まとめを出して、一応、数字的なもので地域の議論の開始を後押ししたいと思います。おそらく議論のプロセスは、各地域によって違っていて、新しいふるさとを一緒になって作ろうという所もあれば、小規模だけれども小学校は留まり、一方で中学校は大きい規模を取りたいとか、また別の考え方として、小中で縦に繋がりたいという所もあると思います。その時に我々としては、色々な視点や、他地域の情報等も提供しながら、最終的にはそのエリアの住人が議論を行い、結論を出すという様なプロセス、その辺りが出来ればと思います。</p> <p>少し整理しますと先程の（2）通学区域のところでは、安全性となっていて、（3）適正配置の指標④を見ると、通学の安全性となっています。ここのところを、「通学の安全性と手段」と修正しましょう。そうすると、指標を8つのままで増やさなくて済みます。</p> <p>そして、（2）通学区域のところの②も、安全性と手段というふうに入れていただいて、先程のスクールバスのところと、「児童の場合は特に徒步通学の持っている成長・発達上の意味合いを考慮する」とか、そういうことも加えておいてください。</p> <p>それでは、（1）は、標準規模という言葉で進ませて頂きたいと思いますが、宜しいですか。ご意見もあったのですが、適正は、最終的な結論を出す時のものなので、市民に適正ということで受け取られ、これで結論が出たと誤解されない様に、標準ということばを使って少し幅を持たせて議論をプッシュする様な方向でいきたいと思います。</p> <p>事前に事務局サイドと議論したところでは、標準規模について考える理念のようなものを冒頭に1項目か2項目置き、そして、シンプルな結論を置くよりは、下に括弧書きで、今レジュメとして書かれている項目をそのまま載せて、最終的に、3～5学級の橙色のところと、6学級のところについて議論を促すという様な表記にさせて頂きますと、理念があって、審議のプロセス、項目の柱が見え、中間まとめとして結論を出すのではなくて、議論を促すという意味が見えて来る様な気がします。</p> <p>通学区域のところは最終的にどうするかということですから、議論を促す指標には入れていません。議論を促すのは、標準規模のところで、先ず議論</p>

	<p>を促すという形で入れるのではないかと思っています。ですから通学距離の範囲、通学時間の範囲の所は、理念と審議した項目の柱が出てくる様なイメージになると思います。</p> <p>最後に全体のまとめに戻りますので、(3)の適正配置について少しご議論頂けますか。</p> <p>これについては先程言った様に、結論をこちらが想定している訳ではなく、住民に議論をしていただくよう促していくようなイメージで考えています。その意味で①～⑧の色々な指標で、住民へ資料を提供し、そして住民の中で最終的に「ふるさと」とか「志し」というようなものをベースに、どのような結論を出して来るかということを、待ちたいというふうに思うわけです。この点について、何かご意見があればお願ひします。</p> <p>それと、ここに書いています様に、先ず要望のあるところ、次に中心市街地の近接した小規模校、その次に小規模化の進行が著しいというようなイメージで少し議論を促していこうと思っております。</p>
委員	3番の適正配置のところの⑧の施設の改修計画との整合性があるのですが、改修計画は、今の学校の老朽化の方を中心に考えているのですか。
事務局	現在の施設改修計画は、耐震対応が中心になっています。具体的な計画については、以前の審議会で資料をお示しさせて頂きましたが、これについては現在、新しい計画を作っていますので、それが出来次第、皆さんにご提示したいと考えています。それを含めた上で、施設改修との整合性について、全体的な議論をお願いしたいと思います。
会長	学級人数、学級規模のところで国といわゆる、35人学級というのが新聞報道等で出ていますが、その辺は何か情報は入ってきていますでしょうか。
事務局	そういう議論が展開されている話は聞きますが、まだ正式に決まった訳ではありませんし、実態として、鳥取市の場合35人以上の学級が、そんなに沢山ありません。
会長	そうすると、35人学級が進んでも、あまり大きな変化は鳥取市としては予測されないということですか。
事務局	30人まで落ちてくるとかなりの影響が出てくると思います。何処にラインが引かれるかという事によって随分違って来ると思います。
委員	中学校の統合について、すでに地域から意見が出ていて具体的にあがってくる所があると思うのですが、10年、20年先を考えると、その地域が統合してもすぐに今と同じ規模の学級数となる可能性があり、そうするとまた近隣との統合ということになるのではないかと思います。そこで考えられるのはもう少し大きな範囲での統合ということになってきますが、加えようとする近隣中学校は、現在の生徒規模で校舎の新築がこの春から始まっていますので、先を見越した統合ということが、何となく見えづらいというか、進み難いというところもあるのが現状です。
会長	例えば学びの時間帯は別でも、放課後の部活や土・日の活動は一緒にして新しいコミュニティに踏み出してみる、その中で将来的に違った組み合わせができるなど、色々な選択肢が出てくると思います。これまで、そういう議論があまりされていませんでしたから、学校と地域との関係を議論してもらうような後押し if (条件) { ここに記述 } たらと思います。
委員	その他に中心市街地のことはどうでしょうか。
委員	通学距離や時間、安全性等を考えますと、統廃合は市の中心市街地程やり易いというか、全体像をどうするかは別にして、取り組んでいけるのではな

	<p>いかという気がします。</p> <p>地域コミュニティとの関係にしましても、町内会、自治連合会を中心に議論を交わしていくば、地域の良い案が出てくると思いますので、周辺市街地とは切り離した形で、先ずは中心市街地から考えていく事も一つの方法ではないかと思います。</p> <p>先ほど地域のコミュニティとして各町村に一つは学校が欲しいということがありましたが、周辺地域はそのことを主体として、該当地域で本当にできるかどうかという事を議論しながら進めていけば良いと思います。先ほどお話をあった地域については、現状から一緒になる方向で地域のコミュニティも考えていくようにしたら良いと思います。</p>
会長	以前に、小中連携とか鳥取県内の統廃合の例などで、情報があればという事が出ていた様に思うのですが、事務局の方で何かありますか。
事務局	<p>県東部の情報しか入っていませんが、智頭町が平成24年を以って一つの小学校に統合される様で、現在、6小学校ありますが、智頭小学校に一本化されるという話が有ります。</p> <p>また若桜町は小学校が二つ在りましたが、昨年度、閉校になりました、現在小学校1校、中学校1校です。今後は小中一貫校という様な方向で議論が進んでいる様で、それぞれの地域の考え方に基づいて、学校の在り方、スタイルが検討されている様です。</p>
会長	湖南学園の状況は何かありますか。
事務局	<p>湖南学園につきましては、中学校は3学級52名という規模の学校になり、早急に何らかの対応の議論という枠に入るのですが、既に小学校と中学校が縦の繋がりという形で、小中一貫校として取り組んでいるところです。</p> <p>大きな学校規模の中で切磋琢磨した方が本当に良い子が育つか、少ない人数の中でも縦の繋がりをしっかりと通した方が育つか、その辺りのところが議論の分かれ目になるだろうと思います。</p> <p>我々も何か大きな所で切磋琢磨すれば良い子が育ちそうな気持になってしまいますが、これから社会の流れを考えた時に、そういうところばかりではないと思います。これから湖南学園につきましては、ソフトの部分が進んで行く事になりますので、その中でしばらく時間はかかると思いますが、湖南学園からどんな子ども達が育つのかという点は、からの学校のあり方についても一つの方向性を出してくれるものと思っております。ただ、当面は一緒になってまだ1年ですから、その成果を見守りたいと思っているところです。</p>
会長	湖南学園の特色を踏まえてエリア外から、入学している人数は、どの位ありますか。
事務局	<p>湖南学園はまだ特別転入制度の対象になっていません。現在は神戸、東郷、明治、瑞穂、逢坂、この5校が小規模校特別転入制度で、全市内から子ども達が入学できるようになっているところです。東郷小学校は23名ですが実際には10数名入っていて、30名を超える子ども達が、生活しています。それぞれの学校で小規模校は小規模なりに魅力ある学校作りで子ども達を呼ぶという取り組みをしておられまして、東郷小学校は市街地から近いという事もあり、転入が多くなっています。</p> <p>小規模校特別転入制度については、100人に満たない学校という定義付けをしておりますので、この表でいきますと6学級の宝木、佐治、散岐、西郷、湖南学園、この辺りが今後小規模校特別転入制度の枠に入つて来ると思</p>

	<p>います。ただし、制度を実施るのは、各地域が学校に打診をした上で、地域が学校と協議し、地域としても協力して行きたいという事で手が上がった所が対象となるという事です。</p> <p>湖南学園も含めまして、散岐や佐治、宝木等はこの協議に入って行く段階になっていますので、早ければ平成23年から小規模校特別転入制度のグループに入られる可能性があります。</p>
会長	<p>そうすると、適正規模のところで、通学区域制度の弾力的運用の中にそういった特別転入制度なども含めていく方向ですね。実際、今やっているものとか将来やりたいものが多様な形で議論され、それぞれの校区から出て来ると面白いと思います。</p>
委員	<p>市街地地域にも来年度の1年生で、この特別転入制度を使い制度対象小学校へ通う子があります。大人数の中で揉まれながら育っていくことが望ましいのかなと思いますが、それが苦手な子や、親も特色のある学校へ行かせてやりたいという気持ちもあり、そういうニーズもあります。</p>
会長	<p>指定校変更というのは、今ある制度を活用する事によって大きい所、小さい所の魅力があり、それはまた人数的にも緩和する様な方向で使う事も出来ると思います。</p>
委員	<p>学校の役割のところに、子どもの遊び場とあります。</p> <p>今、児童がどんどん増えている小学校がありますが、放課後や土曜日・日曜日の子どもの過ごし方を見ますと、公園で遊んでいる子をほとんど見かけません。というのも、公園で遊べない、ボールが使えないのです。ボールを使えば止まっている車に当たるとか、窓ガラスを壊すとかいうことで、地域の中で使っては駄目というルールみたいなものが有るのです。</p> <p>今の子どもは自分たちで考えて遊ぶということが苦手なので、学校へ行って遊ぶのですが、それもなかなかできずに、土曜日は家で子どもだけで過ごす子もけっこういます。そして日曜日になると、今度は家族単位でレジャーに行くわけです。そうすると、子ども達が地域の中で人間関係を作っていく場というのが無いのです。</p> <p>ある地域では数年前に放課後子ども教室を実施しまして、低学年の子どもたちが地域の人と関わり、学校の中での人間関係とは違う地域での人間関係ができる、保護者の反応もよく、非常に良かったと思います。そうしてみると、例えば、学校施設は土・日曜日は空いていますので、放課後子ども教室の様な形で地域の方が関わりながら、子ども達を育てて行くという形が出来たら良いのかなと思ったりします。</p>
会長	<p>最後の適正配置の下のところに学校の役割というのがありますが、議論を進めて行く時に標準規模等は学びの方の視点から出ていますが、おっしゃるとおり生活とか遊びというふうな視点で見ていくと、もっと小さな単位でそういう場所があるということをそのエリアで議論して頂いて、いろんな意見が出て来ると面白いと思います。</p> <p>さらに、この中に高齢者や生涯学習、子育て支援の問題なんかが入って、6歳から15歳だけの学校ではなくて、もうちょっと広い地域センターの様な形の議論になるのかもしれません。</p> <p>今回の中間答申は、最初から統合をというようなものではなくて、地域と学校との関係が発展して行く様な議論を、とにかくスタートしてもらおうというもので考えています。12学級以上の所は議論しなくていいという訳ではありませんが、現状で表の橙色部分や6学級の所から、そういうポジティ</p>

	<p>ブな議論をしてもらい、やがては協議となっている所も含めて、鳥取市内のすべての学校と地域において、そういう議論を大いにしてもらおうじゃないかと思っています。どうでしょうか、他には何かございませんか。</p> <p>先程、中高連携の話題が出ましたが、鳥取市は承知していないかも知れないのですが、何か情報ございますか。</p>
事務局	<p>この事につきましては、議会で教育長が言っているとおりでして、県から一切聞いていませんので、何も情報は有りません。ですから、どういうものが出来るとか、何処に出来るかとかという話も全くございませんので、これから議論になろうかと思います。</p>
委員	<p>この会で1度も話は無いのですが、中学校は関係してくると思いますし、どうして話がないのだろうと不思議に思っています。</p> <p>新聞には、第一候補、第二候補の高校が掲載されていまして、その候補高校へは、近隣の地域の子どもがほとんど行きますので、そこが中高一貫になった場合、子ども達の受け入れはどうなるのだろうか等、色々考えてしまいます。こういうところを、どのように考えておられるのかなと思います。</p> <p>やはり、市と県と連携を持って、子ども達が育っていく中で、ある程度、共通の認識を持って欲しいと思いますし、こういう論議の場でも情報が出ていないというのは、何かおかしいと思います。</p>
事務局	県から情報が出ましたら、公式に回答させて頂きたいと思います。
会長	<p>中間まとめが終わりましたら、今度は中高連携についても議論の一つに入れられるかと思います。</p> <p>大体、宜しければ方向として、今日出ましたように、いわゆる話し合いを始めてもらう様な意味合いでの後押しするための指標の様な形で議論をまとめてみたいと思います。</p> <p>正副会長と、アドバイザーにも入って頂いて、事務局で少し叩き台の様なものを次回までに作らせて頂き、間に合えば次回の会議の案内の時に案の様なものをお送りさせて頂いて、中間答申の案文の様なものを議論出来たらと思っております。</p> <p>では、これで予定していた議事については終了ですが、議事にその他があります。何か発言したい事はございますか。</p>
委員	先ほどの学校の役割の中に、施設の地域開放と一緒に、交流の場という言葉を入れて欲しいと思います。先ほど言われたように、施設は開放して頂くのですが、開放して頂くと同時に、地域住民との交流の場というのがあると思います。
会長	では、一項目増やしまして、④の災害時の避難場所を⑤として、④の所に「地域の交流及びコミュニティーセンター」としての拠点みたいなものを入れておきましょう。それで5つという事で宜しいですか。 他にはどうでしょうか。
委員	質問ですが、智頭町で平成24年に6小学校が統合になるとのことですが、これは、行政の政策として半ば強制的に実施するのか、それとも地域住民にしっかり説明しながらやって行くのか、その辺の経緯が分かれば教えて頂きたいと思います。
事務局	現時点では、統合が検討されているという事しか分かりませんので、また情報が入りましたら、お伝えします。
委員	国府町に何校あったのか知らないのですが、今、国府東と宮ノ下の2つに

	なっています。その辺の経緯が参考になると思います。
会長	事務局の方で、次回までに情報を入れておいて頂けますか。
会長	<p>これなんかも議論の結論としては、学校の建物は、学びの場としては統合するけれども、例えば、放課後は残った所を活用して何かをするとかというアイデアもあるわけです。ですから単純に学校を廃校し無くなりますではなく、もう少しメリハリのある地域活性化のプランとか、イメージしていた様な仕組みが出てくるのではと期待しています。</p> <p>予定より早く進みました、本日はこれで終了という事で、事務局にお返します。</p>
事務局	<p>次回の予定につきましては、後日調整してご案内させて頂きたいと思います。</p> <p>最後の議論と関係しますが、今まで校区の問題というのはハードとの兼ね合いが大きいものですから行政主導でやってきましたが、今回住民主導的な進め方ということでご提言がありましたので、幅広い議論の中でそのあたりが煮詰まっていけばと思います。</p> <p>本日は、どうも御苦労様でした。</p>